Canon

EOS 6D

EOS 6D (WG)

Wi-Fi機能 使用説明書（基本編）

GPS機能 使用説明書

Wi-Fi機能では、かんたんに使うことができる「カメラ間で画像を送受信」と「スマートフォンと通信」の基本的な使い方を説明しています。
Wi-Fi機能のより詳しい内容については、カメラ使用説明書CD-ROMに収録されている「Wi-Fi機能 使用説明書」を参照してください。
GPS機能では、すべての機能の使い方を説明しています。

J

Canon

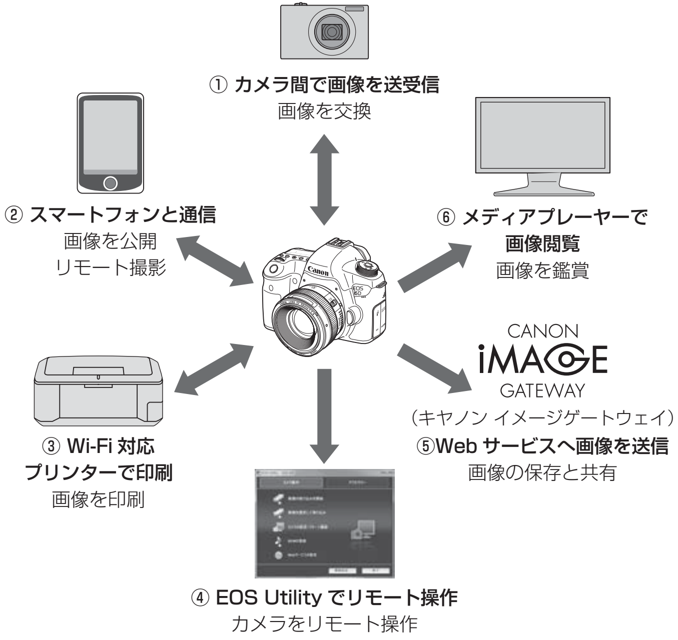
EOS 6D

EOS 6D (WG)

Wi-Fi機能 使用説明書（基本編）

無線LAN でできること

Wi-Fi®（ワイファイ）や、本機の無線LAN機能と互換性のある製品と無線で接続し、画像の送受信やカメラの操作などを行うことができます。



* ②をアクセスポイント経由で使いたいときは、カメラ使用説明書CD-ROMの「Wi-Fi機能 使用説明書」PDFを参照してください。
* ③〜⑥の使い方は、カメラ使用説明書CD-ROMの「Wi-Fi機能 使用説明書」PDFを参照してください。

① **カメラ間で画像を送受信**（p.W-13）
　無線LAN機能を内蔵した、キヤノン製のカメラ同士で画像の送受信を行うことができます。

② **スマートフォンと通信**（p.W-21）
　スマートフォンでカメラ内の画像を見たり、カメラの操作を行うことができます。スマートフォンに専用アプリケーション「EOS Remote」をインストールして使用します。

③ **Wi-Fi対応プリンターで印刷**
　無線LAN で使えるPictBridge（DPS over IP）に対応したプリンターに接続して、画像の印刷を行うことができます。

④ **EOS Utilityでリモート操作**
　EOS Utilityは通常、カメラとパソコンをインターフェースケーブルで接続して利用しますが、インターフェースケーブルの代わりに無線LANでEOS Utilityが利用できるようになります。

⑤ **Webサービスへ画像を送信**
　キヤノンユーザーのためのオンラインフォトサービスである、CANON iMAGE GATEWAY（登録無料）に画像を保存したり、保存した画像を家族や友人に見せることができます。

⑥ **メディアプレーヤーで画像閲覧**
　カメラにセットされたカード内の画像を、DLNA*対応のメディアプレーヤーを使用して、無線LAN経由でテレビに映すことができます。

* Digital Living Network Alliance（デジタル リビング ネットワーク アライアンス）

本使用説明書上のおことわり

- 本書は、Wi-Fi とキヤノン独自の無線機能を総称して「無線 LAN」と表記しています。
- 本文中の（p.＊＊）の＊＊は、参照ページを示しています。
- 本文中の以下のマークの付いた欄は、それぞれ次のような内容について説明しています。

  : 使用する際に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。

  : 基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

本機を使用するために、誤った無線LAN設定を行った結果生じた損害に対して、弊社では補償できませんので、あらかじめご了承ください。また、本機を使用した結果生じた損害に対しましても、弊社では補償できませんので、併せてご了承ください。

目　次

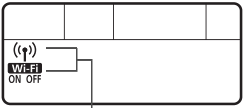
[Wi-Fi] の設定と接続状態について

カメラの液晶モニターと表示パネルで、[¥3] タブの [Wi-Fi] 設定と通信状態を確認できます。



((ı))OFF	[¥3：Wi-Fi] が [使わない] のとき
((ı))OFF	[¥3：Wi-Fi] が [使う] で接続を解除しているとき

((ı))	Y.ıl	接続中
((ı)) (← →)	Y.ıl	送信中
((ı)) ! (点滅)	Y	接続エラー
((ı)) (点滅)	Y	接続待機中 再接続待機中



(消灯) Wi-Fi OFF	接続を解除
((ı)) Wi-Fi ON	接続中 送信中 接続待機中
((ı)) (点滅) Wi-Fi ON	再接続待機中
((ı)) (点滅) Wi-Fi ON (点滅)	接続エラー

1

無線 LAN 機能の基本設定

この章では、カメラの無線LAN機能を使用する前に必要な設定について説明しています。

ニックネームを登録する

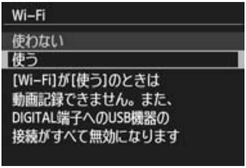
はじめに、カメラにニックネーム（名前）を付けます。

このニックネームは、無線LANで他の機器と接続するときに、接続先の機器で表示されます。必ず設定してください。



1 ［Wi-Fi］を選ぶ

- ［🔧3］タブの［Wi-Fi］を選び、〈SET〉を押します。



2 ［使う］を選ぶ

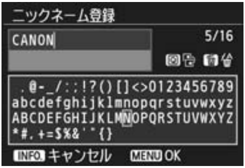
- 〈▲▼〉を押して［使う］を選び、〈SET〉を押します。
- ➡［Wi-Fi機能］が選択できるようになります。



3 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［🔧3］タブの［Wi-Fi機能］を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 初めて設定するときは、ニックネームの登録を促す画面が表示されます。［OK］を選んで手順4に進んでください。





4 ニックネームを入力する

- 入力方法は、次ページの『仮想キーボードの操作方法について』を参照してください。
- 最大16文字入力できます。

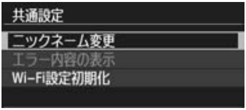


5 終了する

- 入力が終わったら〈**MENU**〉ボタンを押します。
- 確認画面で［**OK**］を選んで〈SET〉を押すと、ニックネームが登録され、［**Wi-Fi機能**］画面に進みます。



- ニックネームを変更するときは、上記の画面で〈**INFO.**〉ボタンを押し、表示される画面で［**ニックネーム変更**］を選びます。



仮想キーボードの操作方法について



● 入力エリアの切り換え

〈Q〉ボタンを押すと、上下の入力エリアが交互に切り換わります。

● カーソルの移動

上側のエリアで〈◀▶〉を押すと、カーソルが移動します。

● 文字の入力

下側の入力エリアで〈▲▼〉〈◀▶〉を押して文字を選び、〈SET〉を押して文字を入力します。

画面右上の「*/*」で、入力した文字数と入力できる文字数を確認することができます。

● 文字の削除

入力を間違えたときは、〈🗑〉ボタンで消去します。

● 入力の終了

〈MENU〉ボタンを押すと、入力を確定して終了します。確認画面が表示されたときは、[OK] を選んで終了します。

● 入力のキャンセル

〈INFO.〉ボタンを押すと、入力をキャンセルして終了します。確認画面が表示されたときは、[OK] を選んで終了します。

基本的な操作と設定

無線LAN機能使用中の操作について

- 無線 LAN 機能を優先したいときは、シャッターボタンやモードダイヤル、再生ボタンなどを操作しないでください。撮影操作や再生操作を優先して、無線LAN機能が途中で終了することがあります。
- ［**Wi-Fi**］を［**使う**］に設定しているときは、動画撮影はできません。また、インターフェースケーブルでカメラとパソコン、プリンター、GPSレシーバーなどを接続しても使うことはできません（p.W-12）。

オートパワーオフについて



- ［**¥2**］タブの［**オートパワーオフ**］は、必要に応じて［**しない**］に設定してください。
- 無線LAN の接続中にカメラのオートパワーオフ機能が働いた場合は、無線LANを休止します。オートパワーオフから復帰すると、無線LANを再開します。

［¥3］タブ［Wi-Fi］について



- 飛行機内や病院内などで、電子機器や無線機器の使用が禁止されているときは、［**¥3**］タブの［**Wi-Fi**］を［**使わない**］に設定してください。

インターフェースケーブルの接続について

- ［¥3］タブの［**Wi-Fi**］が［**使う**］に設定されているときは、インターフェースケーブル接続が無効になります。［**使わない**］に設定してからインターフェースケーブルを接続してください。
- インターフェースケーブルでパソコンやプリンター、GPS レシーバーなどに接続しているときは、［**Wi-Fi**］の設定を変更することができません。インターフェースケーブルを抜いてから設定を行ってください。

Eye-Fiカードの使用について

- ［¥3］タブの［**Wi-Fi**］が［**使う**］に設定されているときは、Eye-Fiカードでの画像転送はできません。

2

カメラ間で画像を送受信

無線LAN機能を持つキヤノン製のカメラ同士で、画像の送受信を行うことができます。

- 無線接続できるのは、2012 年以降に発売されたキヤノン製の無線LAN機能内蔵カメラです。なお、キヤノン製の無線LAN機能内蔵ビデオカメラとは接続できません。
- Eye-Fiカードに対応していても、無線LAN機能を内蔵していないキヤノン製カメラとは接続できません。
- 送受信できる静止画のファイル形式はJPEGのみです。
- 動画も送受信できますが、受信した動画のファイル形式にカメラが対応していないと再生できません。

接続先を選ぶ

無線LANで接続する、相手のカメラを登録します。
一度に接続できるカメラは、1台だけです。



1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [¥3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



2 [📷] を選ぶ

- 〈▲▼〉〈◄►〉を押して [📷]（カメラ間で画像を送受信）を選び、〈(SET)〉を押します。



3 接続先のカメラを設定する

- 左の画面が表示されたら、接続先のカメラでも接続の設定を行います。操作方法については、ご使用のカメラの使用説明書を参照してください。
- 接続が完了すると、設定を自動的に保存したあとで、カード内の画像が表示されます。



4 送信する画像を選ぶ

- 送信する側のカメラで画像を選びます（p.W-16）。
- 受信する側のカメラでは、何も操作をしないでください。

受信した画像にGPS情報が付加されていても、カメラの再生画面でGPS情報は表示されません。なお、ソフトウェアのMap Utility（マップユーティリティー）を使用すると、パソコンの地図上に撮影場所を表示できます。

- 接続したときの設定は、接続したカメラのニックネームで自動的に保存/登録されます。
- ほかのカメラと接続しているときは、オートパワーオフ機能は働きません。

画像を送信する

1枚ずつ送信する

選んだ画像を1枚ずつ送信します。



1 送信する画像を選ぶ

- 〈◀▶〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- 〈Q〉ボタンを押して〈 〉を左に回していくと、インデックス表示にして選ぶこともできます。〈 〉を右に回すと1枚表示に戻ります。



2 ［この画像を送信］を選ぶ

- 〈◀▶〉を押して［**画像サイズ縮小**］を選ぶと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◀▶〉を押して［**この画像を送信**］を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 送信状態を示す画面が表示されます。
- 続けて送信するときは、手順1、2を繰り返します。



3 接続を終了する

- 〈**MENU**〉ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◀▶〉を押して［**OK**］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。
- ➡ ［**Wi-Fi機能**］の選択画面に戻ります。

接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続が終了します。

RAW画像は送信できません。

画像を選んで送信する

複数の画像（最大50ファイル）を選択して送信します。



1 〈SET〉を押す



2 ［選んで送信］を選ぶ

- 〈◄►〉を押して［**画像サイズ縮小**］を選ぶと、送信する画像サイズを選択できます。
- 〈◄►〉を押して［**選んで送信**］を選び、〈SET〉を押します。



3 送信する画像を選ぶ

- 〈◄►〉を押して送信する画像を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 送信する画像の左上に〈✓〉が表示されます。



- 〈Q〉ボタンを押して〈 〉を左に回していくと、3画像表示にして選ぶこともできます。〈 〉を右に回すと1枚表示に戻ります。
- 送信する画像の選択が終わったら、〈Q〉ボタンを押します。



4 画像サイズを縮小する

- 必要に応じて設定します。



5 画像を送信する

- 〈▲▼〉を押して［**送信**］を選び、〈(SET)〉を押して送信します。
- ➡ 送信状態を示す画面が表示されます。
- 続けて転送するときは、手順1～5を繰り返します。



6 接続を終了する

- 〈**MENU**〉ボタンを押すと、確認画面が表示されます。〈◄►〉を押して［**OK**］を選び、〈(SET)〉を押して接続を終了します。
- ➡ ［**Wi-Fi機能**］の選択画面に戻ります。

- 送信するファイルサイズが大きいときは、電池の残量にご注意ください。
- 接続中に再生操作や撮影操作を行うと、接続が終了します。

- RAW画像は送信できません。
- 一度に50ファイルまで送信できます。

再接続する

接続設定を登録したカメラに再度接続します。



1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［🔧3］タブの［Wi-Fi］を［**使う**］に設定したあとで、［**Wi-Fi機能**］を選びます。



2 ［📷］を選ぶ

- ［📷］（カメラ間で画像を送受信）を選び、〈SET〉を押します。



3 接続する

- ［**接続**］を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で［**OK**］を選びます。
- 接続先のカメラでも再接続の操作を行います。
- ➡ カード内の画像が表示され、送信する画像が選択できるようになります。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、［**設定の選択**］を選び、接続先を選んでから接続します。
- 設定の名称は、初期設定では接続先カメラのニックネームが表示されます。

MEMO

3

スマートフォンと通信

スマートフォンと通信して、スマートフォンからカメラ内の画像閲覧や操作、画像の受信ができるほか、スマートフォンを使用してリモート撮影を行うことができます。

事前準備

使用できるスマートフォンのOSについて

下記のOSがインストールされたスマートフォンに対応しています（2012年9月現在）。

最新の対応OSについては、EOS Remoteのダウンロードサイトでご確認ください。

- **iOS ：バージョン5.0-5.1**
- **Android：バージョン2.3.3-4.0**

スマートフォンにEOS Remoteをインストールする

スマートフォンと通信を行うには、専用アプリケーションの EOS Remoteを使用してスマートフォンに接続します。

EOS RemoteはApp StoreまたはGoogle Playからダウンロードできます。接続するスマートフォンにEOS Remoteをインストールしてから接続操作を行ってください。

カメラアクセスポイントモードで接続する

カメラとスマートフォンを無線LANで直接接続します。

アクセスポイントが無くても接続できるので、外出先でも手軽に通信を行うことができます。

なお、接続するためにはスマートフォンの操作が必要です。詳しくは、スマートフォンの使用説明書を参照してください。



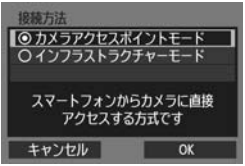
1 [Wi-Fi機能] を選ぶ

- [🔧3] タブの [Wi-Fi] を [使う] に設定したあとで、[Wi-Fi機能] を選びます。



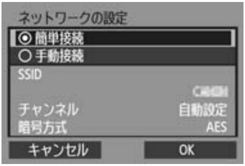
2 [📱] を選ぶ

- [📱]（スマートフォンと通信）を選び、〈SET〉を押します。



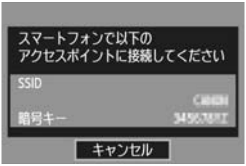
3 [カメラアクセスポイントモード] を選ぶ

- 〈▲▼〉を押して [カメラアクセスポイントモード] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



4 [簡単接続] を選ぶ

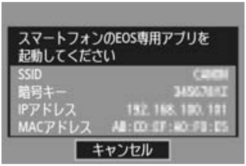
- 〈▲▼〉を押して [簡単接続] を選び、〈SET〉を押します。
- [OK] を選んで〈SET〉を押すと、次の画面に進みます。



5 スマートフォンを操作してカメラに接続する

- お使いのスマートフォンのWi-Fiに関する設定メニューから、カメラの液晶モニターに表示されるSSID（ネットワーク名）を選択します。
- パスワード欄には、カメラの液晶モニターに表示される暗号キーを入力します。

➡ スマートフォンの操作が完了していなくても、自動的に次の画面に進む場合があります。



6 スマートフォンのEOS Remoteを起動する

- Wi-Fiの設定が完了したら、スマートフォンのEOS Remoteを起動します。



7 スマートフォンで［カメラ接続］を選ぶ

- EOS Remoteの［**カメラ接続**］を選びます。



8 スマートフォンで接続するカメラを選ぶ

- EOS Remoteの［**検出カメラの一覧**］から、接続するカメラを選びます。

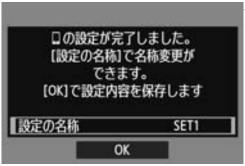
➡ ペアリングが開始されます。



ASCII（アスキー）以外の文字は、□で表示されます。

9 カメラを接続する

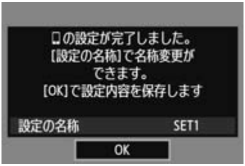
- ペアリングが終了すると、左の画面が表示されます。〈◄►〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押します。





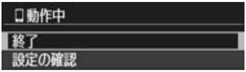
10 設定を進める

- この状態で設定を終了するときは、〈▲▼〉を押して［OK］を選び、〈SET〉を押して手順11に進みます。
- 設定の名称を変更するときは、［**設定の名称**］を選び、〈SET〉を押します。
- ➡ 仮想キーボードが表示されます（p.W-10）。設定の名称は、最大30文字入力できます。



11 設定内容を保存する

- ［OK］を選んで〈SET〉を押すと、設定を保存します。
- ➡ ［□**動作中**］の画面が表示されます。



これでスマートフォンとの通信設定は完了です。

スマートフォンでカメラを操作する

スマートフォンにインストールしたEOS Remoteを使用して、カメラ内の画像を閲覧したり、リモート撮影などを行うことができます。

EOS Remoteのメイン画面



EOS Remoteでは、主に下記のことを行うことができます。操作方法は、EOS Remoteの画面に触れながら覚えてください。

[カメラ内画像の表示]

- カメラ内の画像が閲覧できます。
- スマートフォンにカメラの画像を保存することができます。
- カメラ内の画像に対し、削除などの操作を行うことができます。

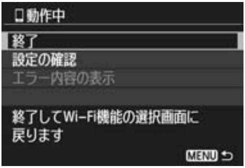
[リモート撮影]

- カメラのライブビュー映像をスマートフォンで見ることができます。
- カメラの設定を変えることができます。
- レリーズ操作で撮影することができます。

✿（設定ボタン）

- EOS Remoteの各種設定ができます。

接続を終了する



1 **[終了]を選ぶ**

- 左の画面が表示されていないときは、カメラのメニュー画面で［🔧3］タブの［**Wi-Fi機能**］を選びます。
- ［**終了**］を選び〈SET〉を押します。



2 **[OK]を選ぶ**

- 〈◄►〉を押して［**OK**］を選び、〈SET〉を押して接続を終了します。

- スマートフォンへは、S2サイズのJPEG画像で保存されます。RAW画像もS2サイズのJPEG画像で保存されます。
- 動画は一覧に表示されますが、保存はできません。
- 無線LANの接続中にカメラのオートパワーオフ機能が働いた場合は、無線LANを休止します。オートパワーオフから復帰すると、無線LANを再開します。

再接続する

接続設定を登録したスマートフォンに再度接続します。



1 ［Wi-Fi機能］を選ぶ

- ［🔧3］タブの［Wi-Fi］を［使う］に設定したあとで、［Wi-Fi機能］を選びます。



2 ［📱］を選ぶ

- ［📱］（スマートフォンと通信）を選び、〈SET〉を押します。



3 接続する

- ［**接続**］を選び、〈SET〉を押します。
- 確認画面で［**OK**］を選びます。
- ➡ スマートフォンに再接続します。

- 接続先の設定が複数登録されているときは、［**設定の選択**］を選び、接続先を選んでから接続します。

Canon

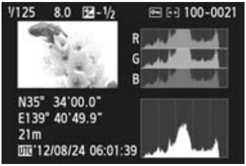
EOS 6D

EOS 6D (WG)

GPS機能 使用説明書

GPS機能でできること

位置情報を画像に付加



- 位置情報*[1]（緯度、経度、標高、協定世界時*[2]）を画像に付加できます。
- この情報を利用して、パソコンの地図上に撮影場所が表示できます。

*1：移動条件やGPSの設定によって、画像に付加される位置情報が正確でない場合があります。電子コンパス機能は搭載していません。

*2：協定世界時（UTC：Coordinated Universal Time）は、グリニッジ標準時とほぼ同じ時刻です。

移動ルートを記録

- ロガー機能を使うと、カメラがたどった位置情報を記録します。たどった位置情報は、パソコンの地図上に表示できます。

* 移動条件や移動場所、GPSの設定によって、画像に付加される位置情報が正確でない場合があります。

時刻の設定

- GPSから得られる時刻をカメラに設定できます。

パソコンの地図上に画像や情報を表示

- ソフトウェアのMap Utility（マップユーティリティー p.G-18）を使用して、パソコンの地図上に撮影場所や移動ルートが表示できます。



地図データ©2012 ZENRIN -

パソコンで画像に位置情報を付加



地図データ©2012 ZENRIN -

- ロガー機能を使うと、記録した位置情報を画像に付加できます。このカメラと一緒に持ち歩いて撮影した、他の EOS DIGITAL カメラやキヤノン製コンパクトデジタルカメラの画像にも、あとから位置情報を付加できます。対象となる画像は、JPEGと拡張子CR2のRAW画像です。

本使用説明書上のおことわり

本文中の絵文字について

- ⚠ ：撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項を記載しています。
- 📝 ：補足説明や補足事項を記載しています。
- （p.＊＊）：参照ページを示しています。

本文中の操作ボタンや設定位置の説明には、ボタンやマークなど、カメラに使われている絵文字を使用しています。

操作説明の前提について

- カメラの電源が入っていることを前提に説明しています。

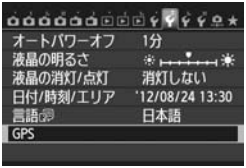
商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh は、米国および他の国で登録された米国アップル社の商標です。
- Google™ 、Google マップ™ および Google Earth™ は Google Inc. の商標です。
- Map Utilityは、Google マップ™ 地図サービスを使用して地図上に画像や軌跡を表示しています。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

目　次

GPSの信号を受信する

GPS信号を受信するときは、空が見通せる屋外にカメラを持っていき、カメラの上面に手や物などをのせないようにして空へ向けてください。



1 ［GPS］を選ぶ

- ［¥2］タブの［GPS］を選び、〈(SET)〉を押します。

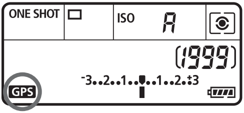


2 ［GPS機器の選択］の［内蔵GPS］を選ぶ

3 メニューを終了する

- 〈MENU〉ボタンを押します。

GPSの受信状態について



表示パネル



液晶モニター

カメラの表示パネルと液晶モニターに表示される〈GPS〉マークで、GPS信号の受信状態が確認できます。

·〈GPS〉マーク点灯：衛星捕捉状態

·〈GPS〉マーク点滅：衛星未捕捉

- 〈GPS〉マーク点灯時に撮影すると、画像に位置情報が付加されます。
- ［**内蔵GPS**］選択時は、カメラの電源を〈OFF〉にしても、捕捉し続けるため、カメラの表示パネルに〈GPS〉マークが表示されます。また、衛星の捕捉に電池を使用するため、撮影可能枚数が少なくなります。
- 受信状態の詳細は、「GPS情報を表示する」(p.G-9)で確認できます。

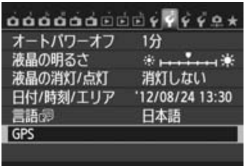
- 衛星の捕捉ができる条件では、電波状態がよい場合、カメラの電源を入れてから、約30秒～60秒で衛星捕捉状態になります。
- 内蔵GPSのアンテナは、アクセサリーシューの前方にあります。なお、外部ストロボを取り付けても、GPS 信号は受信できます。ただし、受信感度は少し低下します。
- 縦位置撮影のときにもGPS信号は受信できます。
- 長い距離を移動したときは、実際とは誤差のある位置情報を記録することがあります。

GPS信号を受信しにくい条件

次のような環境ではGPS衛星からの信号が正しく受信できないため、位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録することがあります。

- 屋内、地下、トンネルや森の中、ビルなどの近くや谷間、長い距離を移動したとき
- 高圧電線や1.5GHz帯の携帯電話などの近く
- 周囲の環境が異なる場所へ移動したとき
- GPS 衛星は時間の経過とともに移動するため、上記以外の環境でも位置情報が記録されなかったり、実際とは誤差のある位置情報を記録することがあります。また、同じ場所でカメラを使っていても移動した位置情報を記録することがあります。

GPS情報を表示する



1 **［GPS］を選ぶ**

- ［2］タブの［GPS］を選び、〈SET〉を押します。

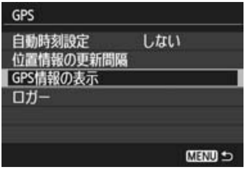


2 **［GPS 機器の選択］の［内蔵GPS］を選ぶ**

- 別売のGPSレシーバーGP-E2をお使いのときは、［外部GPS］を選んでください。



3 **［設定］を選ぶ**



4 **［GPS情報の表示］を選ぶ**

➡ 詳細なGPS情報が表示されます。



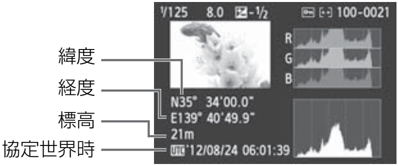
- 画面例のUTC（協定世界時）は、グリニッジ標準時とほぼ同じ時刻です。
  衛星捕捉状態の〈〉は電波状態を示しています。〈3D〉が表示されているときは標高も記録されます。
  〈2D〉が表示されているときは標高は記録されません。
  一般的にGPSの特性上、標高の精度は、緯度・経度の精度よりも劣ります。

5 撮影する

➡ 衛星を捕捉した状態で撮影すると、位置情報が画像に付加されます。

画像に付加される位置情報について

画像を再生して、〈INFO.〉ボタンを何回か押すと、下記の画面が表示されます。



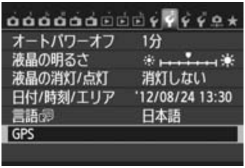
外部GPSの接続について
外部GPSはアクセサリーシューへの取り付けをおすすめします。
［¥3］タブの［Wi-Fi］が［使う］に設定されているときは、インターフェースケーブルでの外部GPSの接続が無効になります。

別のEOS 6D(WG)で撮影したGPS情報付きの画像を再生しても、カメラの再生画面でGPS情報は表示されません。なお、ソフトウェアのMap Utility（マップユーティリティー）を使用すると、パソコンの地図上に撮影場所を表示できます。

動画撮影のときは、撮影開始時の情報が記録されます。なお、衛星捕捉状態は記録されません。

位置情報の更新間隔を設定する

位置情報の更新間隔（時間）が設定できます。更新間隔が短いほど撮影時の位置情報が正確に記録されます。ただし、撮影可能枚数が少なくなります。



1 ［GPS］を選ぶ

- ［🔧2］タブの［GPS］を選び、〈SET〉を押します。



2 ［GPS 機器の選択］の［内蔵GPS］を選ぶ



3 ［設定］を選ぶ



4 ［位置情報の更新間隔］を選ぶ

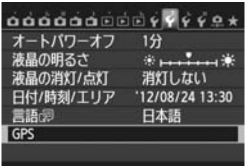


5 時間を選ぶ

- GPS 信号の受信状況が悪い場所で使用すると、撮影可能枚数が少なくなります。
- GPSの特性上、更新間隔に誤差が生じます。

GPSの時刻をカメラに設定する

GPSから得られる時刻情報をカメラに設定できます。



1 ［GPS］を選ぶ

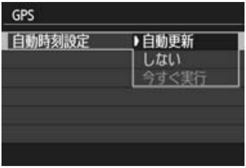
- ［🔧2］タブの［**GPS**］を選び、〈(SET)〉を押します。



2 ［GPS機器の選択］の［内蔵GPS］を選ぶ



3 ［設定］を選ぶ



4 ［自動時刻設定］を選ぶ

- 項目を選び〈(SET)〉を押します。
- ［**自動更新**］は、カメラの電源を入れて、GPS信号を受信したときに更新されます。

> - GPS衛星を5基以上捕捉できないときは、時刻設定できません。また、［**今すぐ実行**］が灰色に表示されて選択できません。
> - ［**今すぐ実行**］が選択できても、GPS 衛星の捕捉タイミングによっては、自動時刻合わせができないことがあります。
> - ［**自動時刻設定**］が［**自動更新**］に設定されているときは、［🔧2］タブの［**日付/時刻**］設定で日付時刻の手動設定はできません。

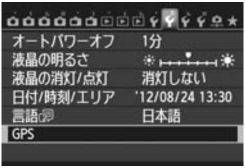
移動ルートを記録する



地図データ©2012 ZENRIN -

ロガー機能を使うと、カメラがたどった位置情報をカメラの内蔵メモリーに自動的に記録します。ロガー機能を使いながら撮影すると、画像にも位置情報が記録されます。記録した位置情報は、ソフトウェアのMap Utility（p.G-18）でパソコンの地図上に表示できます。

ロガー機能は、オートパワーオフ中や電源〈OFF〉中も働きます。



1 [GPS] を選ぶ

- [Y2] タブの [GPS] を選び、〈(SET)〉を押します。



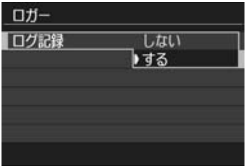
2 [GPS機器の選択] の [内蔵GPS] を選ぶ



3 [設定] を選ぶ



4 [ロガー] を選ぶ



5 ［ログ記録］の［する］を選ぶ

ロガー機能が設定されているときは、カメラの表示パネルと液晶モニターに〈**LOG**〉マークが表示されます。

位置情報のログファイルについて

カメラがたどった位置情報は、下記（表）の［**位置情報の更新間隔**］ごとに記録され、日付別のログファイルとしてカメラの内蔵メモリーに保存されます。保存できるログファイルの日数は下記（表）のとおりで、［**位置情報の更新間隔**］（p.G-11）によって変わります。

位置情報の更新間隔と保存できるログファイルの日数

位置情報の更新間隔	ログファイル（約）	位置情報の更新間隔	ログファイル（約）
1秒毎	4.4日分	**30秒毎**	100日分
5秒毎	22日分	**1分毎**	100日分
10秒毎	44日分	**2分毎**	100日分
15秒毎	67日分	**5分毎**	100日分

* 1日8時間分のログファイルを記録した場合。

- ログファイル名は、日付+番号（2012103100など）で、1日単位でファイルが作成されます。エリアを変えると別ファイルが作成されます。
- 内蔵メモリーに記録されたログファイルは、カードに転送できます（p.G-15）。
- 内蔵メモリーがいっぱいになると、古いログファイルから順に消去して、新しいログファイルを保存します。

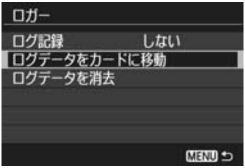
ログファイルをパソコンに取り込む

ログファイルをパソコンに取り込む方法は、付属ソフトウェアのEOS Utilityで取り込む方法と、カードに転送してから取り込む方法があります。パソコンに取り込んだログファイルをソフトウェアのMap Utility（p.G-18）で開くと、地図上に移動ルートが表示されます。

付属ソフトウェアで取り込む

カメラとパソコンを付属のインターフェースケーブルで接続し、付属ソフトウェアのEOS Utilityを使用してログファイルをパソコンに取り込むことができます。詳しくは、EOS Utilityの使用説明書（CD-ROM）を参照してください。

カードに転送して取り込む



- ［**ロガー**］の［**ログデータをカードに移動**］を選ぶと、内蔵メモリーに記録されているログファイルをカードに移動できます。なお、カードに転送すると、内蔵メモリーのログファイルは消去されます。
- カードに取り込まれたログファイルは、「MISC」フォルダの中にある「GPS」フォルダに入っています。ログデータの拡張子は「.LOG」です。
- ［**ロガー**］の［**ログデータを消去**］を選ぶと、内蔵メモリーに記録されているログデータを完全に消去できます。消去には1分程度かかることがあります。

- バッグなどに入れて持ち歩くときは、カメラの上面を空に向け、カメラの上に物がのらないよう収納してください。
- カメラの日付／時刻はできるだけ正確に設定してください。また、エリアとサマータイムは、撮影する地域に対応した設定にしてください。
- ソフトウェアのMap Utilityでは、画像に付加された日付／時刻と、ログ記録で取得した日付／時刻を比較して画像に位置情報を付加します。間違った日付／時刻が設定されていると、画像と位置情報の対応が取れないことがあります。
- 電源が入っているかどうかに関わらず位置情報や日時を記録し続けるため、電源を切っている状態でもバッテリーを消耗し、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。そのため、必要に応じてバッテリーを充電するか、充電された予備のバッテリー（別売）の用意をおすすめします。

- ロガー機能を使いながら撮影すると、撮影した画像に位置情報が記録されます。記録した位置情報は、ソフトウェアのMap Utilityでパソコンの地図上に表示できます。
- このカメラと一緒に持ち歩いて撮影した、他のEOS DIGITALカメラやキヤノン製コンパクトデジタルカメラの画像にも、ソフトウェアのMap Utilityであとから位置情報を付加できます。対象となる画像は、JPEGと拡張子CR2のRAW画像です。
- メニューに［**GPS機器の設定**］が表示されるカメラは、あとから動画ファイルに位置情報を付加できます（EOS 7Dを除く）。

GPSに関するご注意

GPS機能を使うときは、次のことに注意してください。

- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されていることがありますので、お使いになる際は国や地域の法令等の規制にしたがってください。旅行など、国外で使用するときは特に注意してください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。

Map Utilityについて





Map Utility

カメラで記録した位置情報を使用して、パソコンの地図に、画像の撮影場所や移動ルートを表示できます。また、このカメラと一緒に持ち歩いて撮影した、他のEOS DIGITALカメラやキヤノン製コンパクトデジタルカメラの画像にもあとから位置情報を付加できます。

- Map Utilityをインストールするためには、インターネットに接続する必要があります。
- インターネットに接続し、パソコンにEOS DIGITAL Solution Diskを入れ、［**おまかせインストール**］（Macintoshでは［**インストール**］）をクリックすると、Map Utilityがインストールされます。
- Map Utilityを使用するときにも、インターネットに接続する必要があります。詳しくは、Map Utilityの使用説明書を参照してください。



Map Utilityの使用説明書

ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）に収録されています。

主な仕様

画像への位置情報付加 .... 緯度、経度、標高、協定世界時、衛星補捉状態
GPS非対応カメラはソフトウェアのMap Utilityで可能（ログ情報をもとに付加）

受信周波数........................ 1575.42MHz（ L1帯）

位置情報の更新間隔 .... 1／5／10／15／30秒間隔、1／2／5分間隔

時刻合わせ........................GPS の時刻データをカメラに設定

ログデータ........................NMEA-0183フォーマット
1日1ファイル生成
* エリアを変えると別ファイル生成
* 内蔵メモリーに記録されたログファイルは、カード/パソコンに転送可能
* 内蔵メモリーがいっぱいになると、古いログファイルから順に消去して、新しいログファイルを保存

ログデータの消去............可能

- 本使用説明書に記載のデータは、すべて当社試験基準によります。
- 製品の仕様、および外観の一部を予告なく変更することがあります。

MEMO

MEMO

Canon

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

製品取り扱い方法に関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9：00～20：00
土・日・祝日 10：00～17：00
（1月1日～1月3日は休ませていただきます）

※ おかけ間違いのないようにご注意ください。
※ 上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

別紙の修理受付窓口でご確認ください。

キヤノンカメラサイトのご案内

キヤノンデジタルカメラのホームページを開設しています。インターネットをご利用の方は、お気軽にお立ち寄りください。

canon.jp/eos-d

CPZ-J056-000